

第9章

解決力と実行力を身につける！

格言 40

冷静な目を持つとう：対岸の火事も消し方を学べば生きた教材になる

「人のふり見て我が身を直せ」

食品偽装や殺虫剤混入などの食をめぐる報道が未だに絶えることはありません。食品業界に人々にとっては他人事では済まされることではなく関心も高いでしょう。しかし、他の業界の人々にとっては、対岸の火事でも、その消し方を自分なりに想定してみると、視点が変わって変わってきます。火事（起きてはいけけない不祥事・事故）という一大事に各部署の連係はどうすれば取れるのか、マスクミヤ市民へのアナウンスはどのような手法で行えばよいのかを想定し、準備しておくことで、大打撃を免れることができるはずで

技術リーダーは「ソロバン」と「ロマン」を手放すな

「人生は往復切符を発行していません。ひとたび出立したら、再び帰ってきません」

ロマン・ロラン（フランスの作家…1866～1944）

技術者にとって一番うれしいことは、自分の業績が社会に役立つことでそれが目に見える状態になることです。自分の開発した技術が、橋・鉄道など目に見えるモノに使われるとこれほどうれしいことはありません。プロジェクトXのテレビ番組を見て、多くの人が感動するのはそこに「ロマン」があり多くの人のベクトルを同じにして協力する姿があるからだと思います。しかし、成功したプロジェクトの背後には失敗したプロジェクト・採算ベースに乗らなかつたプロジェクトもその何倍も存在するのです。しかし、残念ながら、「失敗するはずが無い」という精神論が優先され撤退の機会を逃してしまうことが多くあります。技術リーダーは「ロマン」というアクセルは大事ですが「ソロバン」という「ブレーキ」から片時も足を離してはいけません。